

# 「くしろ木づなプロジェクト」 今年度の事業について

(2012.3.9)

釧路市



# くしろ木づなプロジェクト

- **地域の課題**  
地域内での、地域の木材消費向上
- **内容**  
地域の“結びつき”を強める、  
地域材利用推進プロジェクト。

合併により広大な  
森林都市となった釧路市

「木」が「つな」ぐ、市町内の“絆”

# プロジェクトの事業構成

- 事業構成  
3つの事業から構成

もっと知る、  
くしろの木



もっと伝える、  
くしろの木と技



もっと使う、  
くしろの木



# ①もっと知る くしろの木

- 経験による情報の数値化、地域で共有
- 不明な点は、新たに調査

## <資源状況の把握>

◎出材可能性調査  
搬出容易な資源が  
どの程度あるか図示化



## <品質の把握>

◎強度試験, ◎燃焼試験  
木材としての強度等を  
数値で確認

## <流通状況の把握>

◎流通コスト調査  
林地残材が搬出可能  
か調査



適切な資源管理を基本  
とした持続的・安定的な  
材の供給

地域材の品質を明確に  
示し、木材に対する  
ユーザーの信頼を構築

流通状況の分析による、  
現状流通コストの明確  
化とコスト低減

# <資源状況の把握>

## ◎出材可能性調査（林分調査）

- GPS機器購入

（10月契約、12月中旬納入）

操作習得、データの継続収集

【効果】情報蓄積、分析能力向上



# <品質の把握>

## ◎強度試験（品質調査）

釧路市有林 間伐林分で実施

強度の高い丸太産出を確認

（音別：H23.11.7～8、阿寒：11.28）



打撃音による測定



約550本実施

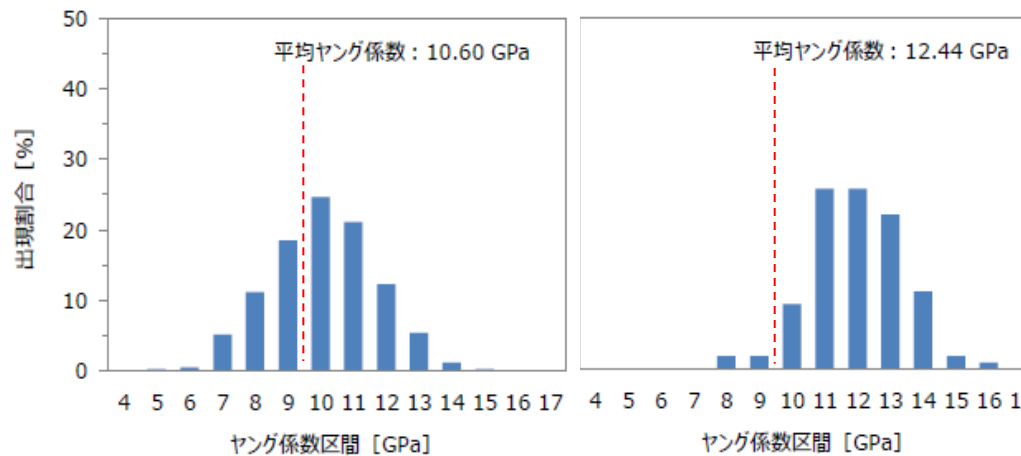
\*（地独）道総研 林産試験場調査協力



# <品質の把握②>

**【効果】** 地域材の品質等を明確に示し、  
ユーザーからの信頼を構築  
(間伐材のマイケスイメージ 払拭)

**【課題】** 強度に見合う売り先確保



音別 約40年生

阿寒約50年生

\* いずれも平均ヤング係数が10GPaを超えた



# <流通状況の把握>

## ◎流通調査

- 林地未利用材流通実証試験  
(音別地区で実施：1～2月)

未利用材



製材用  
丸太



未利用材(追上)量測定



積込作業

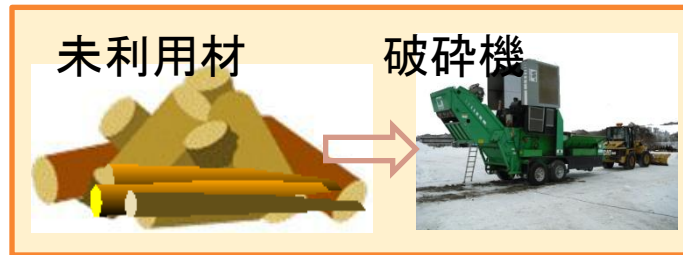
もっと知る、  
くしろの木





# <流通状況の把握②>

## ◎流通調査



1次破碎



破碎材料の積込み



積み下ろし



燃焼

もっと知る、  
くしろの木



# <流通状況の把握③>

《結果》 現在、取りまとめ中

用材



約900m<sup>3</sup>

林地未利用材



約90m<sup>3</sup>

【効果・課題】 コスト・量の明確化



## ②もっと使う くしろの木

- 地域内での幅広い使い道検討

### <マテリアル利用>

魅力ある商品開発



### <バイオマス利用>

ボイラー見学会

(今年度未実施)



地域材の付加価値を  
高めた利用方法の浸透

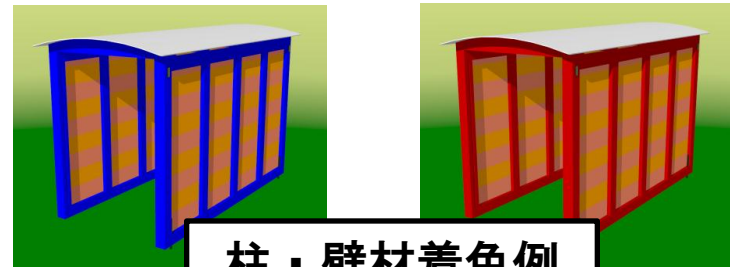
効率的な運用方法の  
確立

# <マテリアル利用>

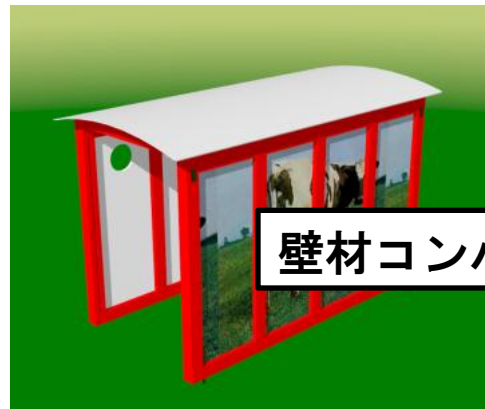
## ◎商品開発（試作）

会議メンバー等と連携した商品試作

【例①】カウハッチ(月齢0-2か月子牛)



柱・壁材着色例



壁材コンパネ使用時

もっと使う、  
くしろの木



# <マテリアル利用>

## ◎商品開発（試作）

会議メンバー等と連携した商品試作

【例②】カラマツフローリング



もっと使う、  
くしろの木



# <マテリアル利用②>

## 【効果】

付加価値を高めた地域材利用方法  
浸透（地域材需要拡大・新規開拓）

## 【課題】

多くのユーザーのニーズ  
にあった商品か検証が必要  
(試作・・後ほど補足説明を)

- 釧路工業技術センター
- フローリング作成事業者



# ③ もっと伝えるくしろの木と技

- 地域材継続利用のための人材育成
- 利用するエンドユーザー(応援団)増加

## ＜経験の伝承＞

### ◎人材研修

工務店・設計段階での  
地域材利用をすすめる  
ための研修会



## ＜域内利用の普及＞

### ◎木造建築MAPなど

市民等に対する普及啓発



地域において求められる  
(正しい知識や技術ある)  
人材の安定確保

「情報」をユーザーに提供し、  
地域材利用に対する信頼感  
を獲得

# < 経験の伝承 >

## ◎人材研修

区分	1回目	2回目
開催日時	平成23年10月27日	平成23年11月29日
参加人数	36名	32名
講演内容	「木材乾燥に関する基礎知識」 「道産材を用いた木質防火材料 (事例紹介)」	「カラマツ材の強度に関する基礎知 識(釧路市有林での試験結果)」 「地元木材を使用した市の公共施設」
講師	(地独)道総研林産試験場 北橋研究職員、河原崎研究主任	(地独)道総研林産試験場 松本主 査、釧路市都市整備部 香川次長



座学



実演

もっと伝える、  
くしろの木と技





# < 経験の伝承② >

## ◎人材研修

区分	3回目	4回目
開催日時	平成24年2月7日	平成24年2月27日
参加人数	36名	32名
講演内容	「木造遮音に関する基礎知識」	「木材塗装に関する基礎知識」
講師	(地独)道総研 北方建築総合研究所 廣田主査	木材塗装研究会 運営委員 長澤良一氏



実演



実演

と伝える、  
るの木と技



# ＜経験の伝承②＞

## 【効果】

正しい知識や技術ある人材安定確保

- ・メンバー以外の工務店等も参加
- ・”参考になった”という意見も複数

## 【課題】

研修希望内容が多岐

＜参加者アンケート＞

もっと伝える、  
くしろの木と技



# <域内利用の普及>

## ◎木造建築MAP作成（3月）

釧路管内の公共施設等対象(24p)

(管内市町村担当係と連携)



例) 音別町森林体験  
交流センター

もっと伝える、  
くしろの木と枝



# <域内利用の普及②>

- MAPタイトル（案）
  - ①わがまち木造再発見
  - ②くしろ木造探訪
  - ③見つけた！木のまち くしろ
  - ④”木”になる建物発見！

**○本日皆様に決めていただきたい**

# <域内利用の普及③>

## ● イベントへの出展(3/17-3/20)

2

**こども 3月17日(土)18日(日)19日(月)20日(火・祝)**

**こども 入場無料**

みんなでおいでよ 夢の遊びに チャレンジだ!

2012 **こども フレンド パーク**

**KODOMO FRIEND PARK**

開催日/ 2012年3月17日(土)~20日(火・祝)  
 時間/ 10:00~17:00 観覧料無料  
 会場/ 別府市観光文化センター  
 入場料/ こども 入場無料  
 おとな1日入場券300円

1 チャレンジゾーン(15コース)  
 2 木のぬれあいゾーン  
 3 静日・ふわふわゾーン

別府市観光文化センター  
 別府市観光文化センター事務局  
 FMKしるす TEL:0184-47-0040  
 観覧料相談センター TEL:0184-47-0900

**20m原木1本展示(切断済)**

会場図

木のぬれあいゾーン

サーフィン スライダー

ふわふわゾーン

ふわふわ 9ルメシアン

チャレンジゾーン(15コース)

メイン会場入口

受付

1

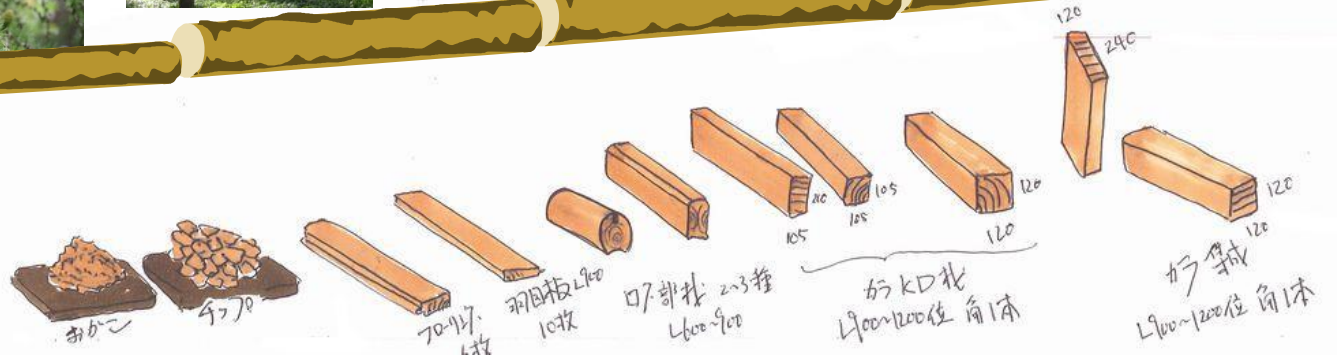
手伝はパスを見せる

手伝はパスを見せる



# <域内利用の普及⑤>

## ② 実感



# <域内利用の普及⑥>

## ラジオ放送

- 放送タイトル／「もっと知ろう！森林都市くしろ  
～釧路の森を守り、育てるには？～」
- 協 力／釧路森林資源活用円卓会議
- 放送日時／2012年3月15日(木)13:35～13:55
- 番組担当／さとう晴美 **FMくしろ**  
周数 76.1MHz

■宣伝3月12日(月)～15日(木)  
1日5本×4日間

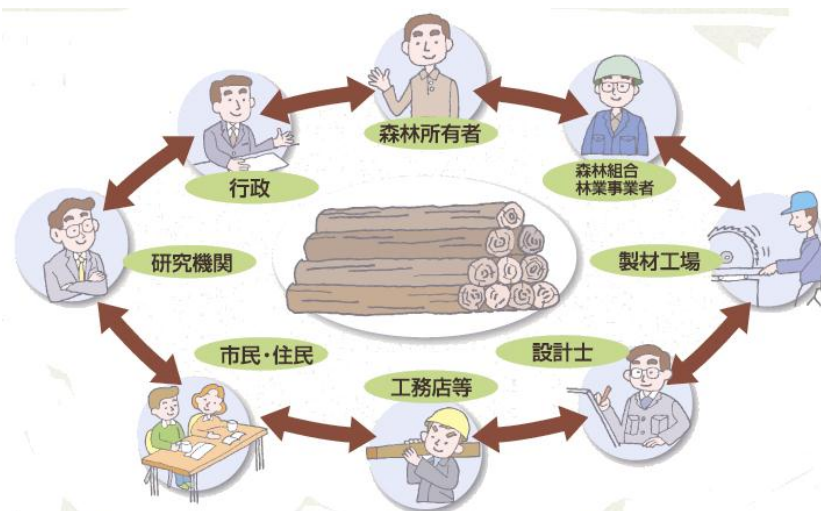
【効果】一般市民に対する  
具体的な普及(イベント告知含)





# 今後の展開

- 今年度、実施時の課題等解決
- 円卓会議での議論をもとに組み立て



地域材利用の共通認識を  
高め、目的達成へ